

国語 第5学年 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 検討会の想定問答

指摘 1: 読むことと書くことのどちらがねらいなのか。本時のねらいが曖昧ではないか。

返し: 読むこと5時間と書くこと5時間を組み合わせた単元で、読むことの中心はC(1)ウ「文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること」、書くことの中心はB(1)エ「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」。本時は読むことの時間で、C(1)ウだけを評価する。読んで考えた資料の効果を、書く時の手がかりにする。

指摘 2: 評価規準は何か。どこで見るのか。

返し: 3観点で書き、文末と書き方は国立教育政策研究所の参考資料の形に合わせた。思考・判断・表現は、読むことと書くことの中心の指導事項を一つずつ評価規準にした。知識・技能①は第3時の対応表と第5時のノート、思考・判断・表現①は本時のワークシートと発言、②は第8・9時の文章、態度①は第1時の見通しの記述と第9時の見直し、第10時の振り返りで見。要旨をまとめる学習(C(1)ア)や材料を集める学習(B(1)ア)も指導するが、記録に残す評価は中心の二つに絞った。

指摘 3: 言語活動は何か。

返し: 読むことはC(2)ア「説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動」、書くことはB(2)ア「事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動」に当たる。資料の効果を話し合い、資料を用いて自然環境を守るための考えを書く。

指摘 4: 個に応じた指導はどうするのか。

返し: 本時では、書けない子と対応表の段落を一緒に読み、「どの言葉を資料が示しているか」と聞く。書く時間には、考え・根拠・資料・出典の欄を分けた構成メモを用意し、資料は先生が選んだ数点から選べるようにもしておく。早く終わる子には、資料の置き場所や組み合わせの効果を考えさせる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 5: ICTは使わないのか。

返し: 二つ考えている。書く時に、公的機関が出している統計資料を端末で探し、出典を書き写すこと、表計算ソフトで自分でグラフを作ること。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。ウェブサイトの資料を使う時は、誰が出した資料か、いつの数字かを必ず書かせる。

指摘 6: 教科書の手引きどおりでいいのか。

返し: 手引きは指導要領の指導事項に沿って作られているので、外す理由はない。この指導案は指導事項から組んであり、手引きと同じ流れで使える。工夫した所は、資料を隠して読んでから示し、ある場合と無い場合を比べることと、効果を仲間分けして書く時に使える言葉にすること。第3の3(3)に、説明的な文章では図表や写真などを含むものを取り上げるとあり、この教材はそれに当たる。

指摘 7: 10時間では足りない。材料を集める時間がない。

返し: 10時間は光村図書の年間指導計画例の配当。材料集めは、第3の2(3)にあるとおり学校図書館を計画的に使い、社会科や総合的な学習の時間で集めた資料があればそれを使う。時間を減らすなら、第6時と第7時を一時間にし、資料は先生が選んだ数点から選ばせる。配当は学校の年間指導計画に合わせる。

指摘 8: 発問が多すぎないか。

返し: 本時の中心発問は「この資料がないと、読む人にとって何がつかみにくくなりますか」の一つ。仲間分けの問いと、書き手の考えとの結び付きの問いは、中心発問で出た考えを整理するための問い。板書には中心発問だけを書く。

指摘 9：理科や社会科の授業にならないか。

返し：固有種や日本列島の成り立ちの知識を教えることは、この単元のねらいではない。国語科で扱うのは、文章と資料を結び付けて読み、書き手が資料をどう使って考えを伝えているかを考えること（C(1)ウ）。内容の詳しい説明は最小限にし、子どもが資料と文章を結び付ける時間を取る。教材の観点は第3の3(2)エ「科学的、論理的に物事を捉え考察し、視野を広げるのに役立つこと」とキ「自然を愛し」に当たる。

指摘 10：板書はどう使うのか。

返し：対応表を黒板に貼り、資料と段落の結び付きを全員で確かめてから、効果の仲間分けを四つの枠で示す。仲間分けの言葉は、書く時間にも掲示に残して使う。読んで考えた効果が、書く時の資料の選び方につながるように板書を残す。

指摘 11：振り返りは何を書かせるのか。

返し：読む時間は「資料の効果で考えたこと」と「自分が書く時に使いたい資料の使い方」の二つ。書く時間は「どの資料を、どの考えの根拠に使ったか」と「友達の資料の使い方によかった所」の二つ。読んだことを書くことにいかせたかを見るため。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第5学年及び第6学年〕2内容C読むこと(1)ア・ウ・オと(2)ア、B書くこと(1)ア・イ・エ・カと(2)ア、〔知識及び技能〕(2)ア・イ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ



AI三重